



2022年分

 TOKYO CUSTOMS NARITA AIR CARGO SUB-BRANCH
 東京税関成田航空貨物出張所

成田空港貨物取扱量

取扱量235万トン 前年比9.1%減少

概要

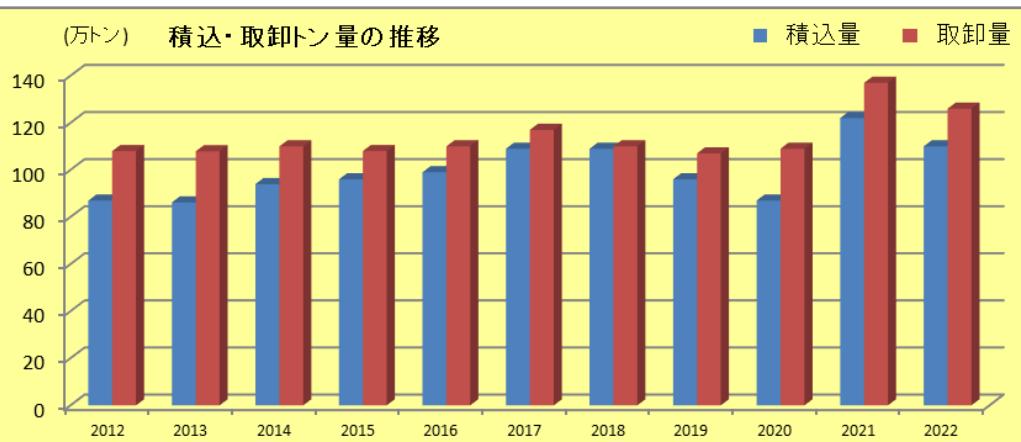
2022年の成田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 2,356,119トン(対前年比 9.1%減)

積込量 1,099,108トン(同 10.1%減)

取卸量 1,257,011トン(同 8.2%減)

となり、総取扱量、積込量、取卸量いずれも対前年比がマイナスとなったものの、総取扱量は2年連続で200万トンを超えた。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（成田航空貨物出張所）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関成田航空貨物出張所通関総括第2部門（TEL0476-32-6116）までお願いします。



地域別通関動向

● 輸出量

成田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

成田 地域 通関 278, 856トン(対前年比 **12. 9%減**、シェア 36. 0%)

その他地域通関 496, 574トン(同 **10. 2%減**、 同 64. 0%)

となり、成田地域通関分は2年ぶりに対前年比がマイナスとなった。

● 輸入量

成田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

成田 地域 通関 753, 585トン(対前年比 **8. 9%減**、シェア 82. 5%)

その他地域通関 160, 165トン(同 **2. 5%減**、 同 17. 5%)

となり、成田地域通関分は3年ぶりに対前年比がマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 323, 678トン(対前年比 **7. 3%減**)

取卸量 343, 261トン(同 **9. 0%減**)

となり、いずれも2年ぶりに対前年比がマイナスとなった。(シェア28. 3%)



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2022年の成田空港で輸入された貨物(成田地域通関分)を生鮮貨物、ドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 94, 117トン(対前年比 **15. 8%減**、シェア 12. 5%)

ドライ貨物 659, 468トン(同 **7. 8%減**、 同 87. 5%)

となった。内訳は、ドライ貨物が3年ぶりに対前年比がマイナスとなり、生鮮貨物は野菜類(対前年比**28. 6%減**)、乳製品(同**26. 6%減**)、果物(同**23. 8%減**)等が減少し、2年ぶりに対前年比がマイナスとなった。

成田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2022年			2021年		
	トン	前年比	構成比	トン	前年比	構成比
成田空港輸入貨物量	753, 585	91. 1%	100. 0%	827, 262	129. 9%	100. 0%
生 鮮	94, 117	84. 2%	12. 5%	111, 801	105. 4%	13. 5%
ドライ	659, 468	92. 2%	87. 5%	715, 461	134. 8%	86. 5%